

進捗報告書（実行団体）

Version 1.0

2021年9月30日

事業名:	コロナ禍における被災者の心の3密拡大事業
資金分配団体:	財団法人佐賀未来創造基金
実行団体名:	NPO 法人リエラ
実施時期:	2021年4月～2022年2月
事業対象地域:	大分県
事業対象者:	令和2年7月豪雨被災者、令和3年8月豪雨被災者

I. 事業概要

事業概要
<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍で更に深刻化した、散在する被災者の孤立や孤独に対して個別訪問を行い、被災者の見える化を行い、一人一人の被災者の生活状況を鑑みて、カウンターパートと共に包括的な生活支援（災害ケースマネジメント）を実施・日田市の令和2年7月豪雨に関わる情報を掲載した「災害復興情報しんぶん（仮）」を定期的に作成。コロナ禍の困り事の把握のためのアンケートを実施し、具体的な支援策を検討・日田市の取り組みを、大分県内の被災地行政と意見交換を行い、県域で同様の課題に対して検討 <p>コロナ禍で深刻さが増した被災者の心と生活再建に関して包括的な支援を行い、発災から2年後の真の生活再建に向けたフォローを行う。</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3年8月豪雨災害にて被災した佐賀県武雄市の被災地支援活動をおこなう。武雄市の一社おもやいをカウンターパートとして後方支援をおこなう。・武雄市の住民の精神面のサポートとして足湯サロンを開催する。これには令和2年7月豪雨被災地の大分県日田市天瀬町から温泉を提供する。

II. 進捗報告の概要

総括
<p><実施予定事業></p> <ul style="list-style-type: none">・概ね計画通りに事業を実施することができた。 <p><追加事業></p> <ul style="list-style-type: none">・フードパントリー企画への参加 <p>日田市社会福祉協議会が主催する、ひとり親世帯への食料及び生活用品の支給（フードパントリー）の企画に参加した。企画協力を含め、コロナに関するアンケートを実施し、コロナ禍の困り事及び課題について把握した。</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3年8月豪雨災害への対応

令和3年8月13日の豪雨水害により、天瀬町内で浸水被害が発生。土砂出しのニーズに対してボランティア募集を行い、延べ100名のボランティアに協力いただき対応した。

佐賀県武雄市にて復旧活動や一社おもやいの組織運営サポートをおこなった。さらに、武雄市にて足湯サロンの開催や現地飲食店による炊き出し支援をおこなっている。

Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
みなし仮設住宅 52 世帯の個別状況に合わせた包括的な支援体制の構築及び課題解決	<p><個別訪問世帯の整理></p> <ul style="list-style-type: none">・令和2年7月豪雨（大分県日田市）で被災した被災者で、みなし仮設住宅（最大52世帯）入居者のうち、訪問対象として50世帯をピックアップし、再建状況に合わせて訪問ランク分けを実施した。訪問ランクは、A（2ヶ月毎の訪問）・B（4ヶ月毎の訪問）・C（半年毎の訪問）の3つに分けた。・在宅の方については、発災後から関係性のある被災者を訪問している。 <p><個別訪問の実施></p> <ul style="list-style-type: none">・みなし仮設住宅入居者訪問の実施（5・7・9月）・コロナ禍のため、訪問に加え電話連絡による再建状況等の把握を実施。 <p><復興情報誌（いっぽいっぽの作成）></p> <ul style="list-style-type: none">・2か月毎に新聞発行し、個別訪問時に被災者に配布。 <p><被災者の再建に関するアンケート調査の実施></p> <ul style="list-style-type: none">・天瀬地区は、みなし仮設住宅退去後の動向調査実施・令和3年8月も豪雨災害発生し、みなし仮設住宅入居者に再び不安残る。・日田市北友田地区に堤防完成し住民に安心が保たれる。 <p><見守り支援ミーティングの開催></p> <ul style="list-style-type: none">・みなし仮設住宅等見守り支援ミーティングを開催。日田市（健康保険課・社会福祉課・天瀬振興局）、日田市社会福祉協議会、南部包括支援センター、一般社団法人あまみらが参加し、仮設住宅入居者の訪問状況等を共有し、課題や取り組みについて連携をとっている。 <p><県内被災自治体との情報共有及び意見交換></p> <ul style="list-style-type: none">・日田市、九重町、玖珠町の行政担当者等と各自自治体での仮設住宅入居者への支援の取り組み等を共有。

<p>佐賀県武雄市の被災住民の暮らしを安定させ衣食住が整う。</p>	<p><緊急期復旧作業支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月17日から現地にスタッフを2名派遣し、家屋の復旧作業をおこなっている。また、一社おもやいの運営サポートを行っている。 <p><足湯サロンの開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月26日（日）に大分県日田市天ヶ瀬温泉より温泉をもって、武雄市に行き、足湯サロンを開催した。 <p><炊き出し支援活動></p> <p>武雄市の業者と調整し、被災者へ炊き出し支援を行っている。</p>
------------------------------------	---

活動	進捗状況	概要
1)みなし仮設住宅・個別訪問	訪問件数（訪問 98 世帯、電話 52 世帯、延べ 150 世帯）	<ul style="list-style-type: none"> ・5月 訪問 48 戸・電話 2 戸 ・7月 訪問 32 戸・電話 18 戸 ・9月 訪問 18 戸・電話 32 戸
2)復興情報誌（いっぽいっぽの作成）	1～3号を発行	<ul style="list-style-type: none"> ・地元を離れ、仮設住宅に入居する方に復興状況等を記載した情報誌を隔月（4・6・8月）で発行し、現在まで3号を発行した。
3) 見守り支援ミーティング（みなし仮設住宅情報共有会議）の開催	ミーティングを3回開催	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回開催（4月19日） 参加者：日田市4名、日田市社協1名、リエラ3名、あまみら2名 ・第2回開催（6月17日） 参加者：日田市4名、日田市社協1名、リエラ3名、あまみら1名 ・第3回開催（8月26日） 参加者：日田市4名、日田市社協1名南部包括センター2名、日田土木事務所1名、西部振興局1名、リエラ5名、あまみら1名、オブザーバー6名（九重町役場1名、九重町社会福祉協議会2名、大分県生活環境部消費生活・男女共同参画プラザ2名、公益財団法人おおいた共創基金1名）
4)県内被災自治体との情報共有及び意見交換	情報共有会議を1階開催	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回開催（8月26日） 参加者：日田市4名、日田市社協1名南部包括センター2名、日田土木事務所1名、西部振興局1名、リエラ5名、あまみら1名、オブザーバー6名（九重町役場1名、九重町社会福祉協議会2名、大分県生活環境部

<p>5)日田市内の災害復興に関わる会議等への参加</p>		<p>消費生活・男女共同参画プラザ 2 名、公益財団法人おおいた共創基金 1 名)</p>
<p>5-1)あまみらリエラ情報共有会議</p>	<p>天ヶ瀬地区における支援活動の共有および今後の活動についての会議を 5 回開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月度 5 月 13 日開催 ・ 5 月度 6 月 10 日開催 ・ 6 月度 7 月 7 日開催 ・ 7 月度 8 月 21 日開催 ・ 8 月度 9 月 28 日開催
<p>5-2)令和 3 年 8 月豪雨対策会議</p>	<p>令和 3 年 8 月豪雨にて被災した天ヶ瀬温泉街における災害ボランティア活動についての会議を 1 回開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月 16 日開催 <p>日田市社協、あまみら、リエラ</p>
<p>6)コロナ禍の困り事の把握のためのアンケート実施及び集計 あまみらリエラ情報共有会議</p>	<p>アンケート調査を 1 回実施</p>	<p>7 月の個別訪問時にコロナ禍の困りごとについてのアンケート調査を実施</p>
<p>7)天ヶ瀬温泉街水害ボランティア活動</p>	<p>令和 3 年 8 月豪雨災害において土砂出しニーズに対するボランティア募集をおこない、活動を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月 19 日、21 日、22 日の 3 日間活動し、延べ 100 名のボランティア受け入れを行なった。
<p>8)フードパントリー来場者へコロナ禍の影響アンケート</p>	<p>コロナ禍の困りごとなどについてのアンケートを実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来場者 123 名からアンケートを収集
<p>9)武雄市へスタッフ派遣</p>	<p>被災家屋の復旧作業や一社おもやいの運営サポート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8 月 17 日から 2 名を武雄市へ派遣
<p>10)足湯サロンの開催</p>	<p>武雄市の被災者を対象に実施し約 20 名が参加。武雄市長も来訪した。また、令和 2 年 7 月豪雨にて被災した大分県日田市の被災者が被災地支援をおこなった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年 7 月豪雨の被災地である大分県日田市天ヶ瀬温泉から武雄市へ温泉を持ち込み、足湯サロンを開催した。
<p>11)炊き出し支援</p>	<p>キッチンが被災した世帯や体力的精神的に調理が困難な世帯を対象にお弁当を配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武雄市の業者と調整し、9 月から 1 日 60 食のお弁当配布をおこなっている。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述

目標とする「包括的な支援体制の構築及び課題解決」は、事業の実施状況を鑑み、体制の構築は概ね達成されつつある。

一方で、日田市役所と協働で実施した「再建に関するアンケート調査」の結果から、「川が怖い」などさまざまな個別の事情から、元の地区（天瀬町）に再建できず、天瀬地区外に転居する入居者が半数を超える予定である。そのため、元のコミュニティと異なる場所での再建となるため、そのフォロー等の課題解決の方法は今後も検討課題となっている。

また、仮設住宅の供与期限の2年が経過した後、「みなし仮設住宅にそのまま入居したい」や「入居継続したいが家賃が高い」など、さまざまな困りごともあるため、引き続き行政等を情報共有しつつ、課題解決に向けて連携を強める必要がある。

さらに、令和3年8月豪雨により被災した佐賀県武雄市では2年前にも被災しており、短期間での災害は住民の精神的に大きなダメージを与えた。一社おもやいの運営サポートを行いつつ、住民の声を聞きメンタルサポートを継続的に行うことが重要と感じる。

V. インプット

		2021年度	2022年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥6,730,000	¥2,365,000	¥9,095,000	¥3,279,448	36%
	管理的経費	¥647,200	¥242,700	¥889,900	¥324,889	36%
合計		¥7,377,200	¥2,607,700	¥9,984,900	¥3,604,347	36%
補足説明						

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

- ・専従スタッフの採用が遅れたものの、企業からの出向者（当法人の費用負担なし）が本事業の進行を行っていたため、事業進捗と予算進捗に差が生まれてしまった。
- ・令和2年7月豪雨に続き、翌年の令和3年にも被災規模は少ないものの災害の影響が出てしまい、災害ボランティアの募集など突発的な対応が求められた。

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等)	有	2021 年 5 月 21 日西日本新聞/フードパントリー 2021 年 8 月日田市ケーブルテレビ KCV 等
広報制作物等	有	復興新聞「いっぽいっぽ」発刊 1号~3号 法人機関紙「KNOT」2021年夏号
報告書等	有	令和3年8月豪雨の対応について

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	開催されている	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	されている	